

# 準早期水稻管理情報 NO.1

## 1 気象・生育概況

5月の気象は平年と比較して、平均気温はやや高く、降水量は少なく、日照時間は多くなりました。

田植えは5月3日頃から開始され、6月4日の現地巡回調査では、一部でスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の食害が見受けられましたが、病害虫の目立った発生はなく、順調に生育しています。

近年、「イネカメムシ」の発生が増加しているため、発生動向に注意しましょう。



## 2 水管理

### (1) 間断かん水

田植え後は、間断かん水（湛水→自然落水→湛水の繰返し）または、一時落水し適度にガス抜きを行い、根を健康に保ちましょう。

### (2) 中干し

中干しは、1株当たりの茎数が18~20本程度確保できたら開始してください（田植え後30日頃が目安）。

#### ① 開始時期

田植日	中干し開始の目安	中干し期間
5月19日	6月19日頃から開始	土壌表面の乾き具合を見ながら7~10日程度
5月26日	6月26日頃から開始	
6月3日	7月3日頃から開始	

#### ② 効果

- 土壌のガス抜きと酸素の供給によって根の活力を維持
- 窒素吸収を抑え、無効分げつを抑制
- 倒伏の軽減、地固めによるコンバイン作業性の向上

#### ③ ポイント

- 土壌が**黒色で、田面に浅い亀裂が入る程度**を基準（土壌が白色になるまで干さないように注意）
- 生育過剰のほ場や排水不良のほ場ではやや強めに、生育が不足気味や水持ちの悪い田では軽めに実施
- 中干し後は一度に深水にせず、走り水程度から始めて徐々に湛水

## 3 病害虫防除

いもち病が発生した場合は、発生初期に補正防除を行いましょう。また、補植用苗は病害虫の発生原因になるため早めに処分しましょう。

病名	薬剤	薬量（10a 当り）	使用時期
いもち病	ダブルカットフロアブル	水 140ℓ に 140mℓ （1,000 倍）	穂揃期まで
	コラトップジャンボP	10~13 パック （500~650 g）	葉いもち：初発 20 日前~初発時 穂いもち：出穂 30 日前~5 日前まで

## 4 雑草補正防除

雑草が多い場合は、下記の除草剤を散布してください。雑草の生育が進むと除草剤の効果が落ちるので、登録の範囲内で早めに散布するようにしましょう。

対象雑草	除草剤名	薬量（10a 当り）	使用時期	使用上の注意
イネ科 広葉 加ツグサ科	クリンチャーバス ME 液剤	水 100ℓ に 1,000mℓ	移植後 15 日~ノビエ 5 葉期まで 但し、収穫 50 日前まで	落水状態で散布する。 高温時散布は避ける。 展着剤は加用しない。
	ワイドショット 1キロ粒剤	1kg	移植後 15 日~ノビエ 4 葉期まで 但し、収穫 45 日前まで	湛水状態で散布する。

※イネ科雑草のみ場合は、「クリンチャーEW」もしくは、「トドメMF乳剤」を使用してください。

### 農薬安全使用のポイント

- ① 散布前は農薬ラベルを確認しましょう
- ② 散布時は近隣作物への飛散に気をつけましょう
- ③ 散布作業は暑い日中を避け朝夕の涼しい時間帯に行いましょう
- ④ 散布後は散布器具を洗浄しましょう
- ⑤ 防除履歴を記帳しましょう